

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	7	学校名	高田高等学校
----	---	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域との交流活動
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	地域と学校との関わりについて意識付けをする。
連携・協働相手	近鉄大和高田駅、高田市駅、JR高田駅
地域と共有している目標・課題等	日常お世話になっている最寄り駅と連携し、生徒のボランティア精神を育む。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
生徒が、約2ヵ月かけて最寄り駅の構内に設置する座布団を製作した。班別になって、生徒自身がそれぞれの班でデザインを決め、班のメンバーと共に座布団を完成させた。デザインについては、そのテーマが重ならないよう工夫した。	

2. 事業の成果と課題

一つの作品を完成させる過程で、それが様々な人に利用され感謝していただいているということに生徒が気づき、地域との関わりを意識することができた。毎年行われている事業であるが、生徒たちはその意義を感じ取り、活動することができた。

【生徒の感想】

- ・座布団を作製しながら、駅を利用する方々の疲れがとれたり、元気になっていただけたりしたらいいなと思った。今後は、駅を利用される高齢者が利用しやすく、親しみのある駅について考えていきたい。
- ・座布団の製作で刺繍が特に苦手であったが、何とか完成させることができて、苦手意識を克服し、自信がいった。

完成した座布団

